

千丸台保育園の自己評価を終えて（平成 31 年度）

総合評価 B

正規職員一人ひとりが千丸台保育園の1年間を振り返るにあたり、これまでの自己評価で抽出された課題に取り組んできた内容も含めて保育園の課題・結果についてそれぞれが評価をしました。

昨年からの課題であった人材育成、保育の質を向上するために今年度は『園内研修』として職員会議の時間を使い職員全員が同じ意識をもって保育できるように努めてきました。

この中では、保護者アンケートの意見等について職員同士の意見交換を行いました。保育については、見直す点やこれからも継続していきたいことなどの確認をいたしました。また、感染症拡大防止には、職員全員が確実に対応できるように外部講師を招き、嘔吐処理の仕方や手洗い指導を頂き、感染症が流行しないよう計画的に研修を行うことができました。そして人権についてはチェックリストで再確認しながらどのように保育に取り組むかを一人ひとりが考え実践することで保育の質の向上につながりました。

研修を通していろいろな方向から知識を得、保育の充実を図るなかで、引き続き職員の資質向上に取り組むとともに人材を大切に、そして丁寧に育成していきます。

安全・安心の保育環境設定に関しては一人ひとりの意識が高く、保育室を清潔に保てるようよう環境を整え、保育を提供しています。

一方、新たな課題としては、職員が増えた事による情報共有の難しさが表面化してきました。日中に行っているミーティングや連絡ノートでの申し送りをしっかりしていく事と職員一人ひとりが伝える力・聞く力を大切にする事を忘れず、コミュニケーションを図っていくことを考えていきたいと思えます。

千丸台保育園 園長 相原 陽子